



収蔵品展「海辺に生きた人々」

概要

歴史民俗博物館で収蔵している海辺での生活に関わる資料約100点の中から、漁師の道具や遺跡からの出土品、写真などを展示し、知多市域で古くから営まれてきた海岸近くでの生活を紹介します。

PRポイント

- ①普段は収蔵庫に保管され公開されていない、国指定重要有形民俗文化財「知多半島の漁撈用具」の一部を出品します。
- ②遺跡からの出土品では、縄文時代の貝塚や奈良時代の製塩遺跡などを、近年の調査成果とともに紹介します。
- ③60年ほど前までの当地域での暮らしが思い起こされる、写真や元漁師からの聞き取り調査結果を紹介します。



▲昭和30年頃の進水式の様子
(場所は現在の緑広場付近)

期 間 令和元年5月25日（土）～7月7日（日） ※月曜日は休館日

会 場 知多市歴史民俗博物館

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観 覧 料 無料

詳 細 別添チラシをご覧ください。